



山梨県立博物館開館一周年記念特別展

# 「祈りのかたち」甲斐の信仰

## 山懐に抱かれた、みほとけたち。

国指定重要文化財16件

<p><b>他阿真教坐像</b> たあしんきょうざざう</p> <p>▶木造 一軀 鎌倉時代[14世紀] 称願寺蔵(笛吹市)</p> <p>甲斐に阿真宗をもち、他阿真教の像。苦痛をこらえるような表情を細やかに表しながらも像の顔し出す雰囲気は穏やかで、温和だったとされる真教の人となり伝える像である。</p>	<p><b>十二神将立像</b> じゅうにしんしょうりゅうざう</p> <p>▶木造 二軀(十二軀のうち) 鎌倉時代[13世紀] 大善寺蔵(甲州市)</p> <p>大善寺本堂内陣の十二神将像。熟達した技法と穩健な作風を示す。像内の墨書から、慶派仏師蓮慶の作であることが知られる。蓮慶は笛吹市・福光園寺の吉祥天及二天像も造立している。</p>	<p><b>愛染明王坐像</b> あいぜんみょうおうざざう</p> <p>▶木造 一軀 平安時代[12世紀] 放光寺蔵(甲州市)</p> <p>弓矢を天に向けて放たんとする姿は、「天弓愛染」と呼ばれる。愛染明王を説いた經典の「衆星の光を射るが如し」という文言を忠実に表したもので、遺例は少ない。甲斐源氏一族、安田義定が開いた放光寺に伝わる像。</p>	<p><b>仁王経疏</b> にんのうきょうしよ</p> <p>▶紙本墨書 一巻 奈良時代[8世紀] 個人蔵</p> <p>仁王経は、古代において護国經典として重んじられ、対外的な危機や国内情勢の不安に際しては、この經典による法要がなされた。仁王経疏は、その注釈である。</p>	
<p><b>關漢道隆経行像(大覚禪師経行像)</b> かんげんどうりゅうけいぎんざう(たいかくぜんしんきんざう)</p> <p>▶絹本着色 一幅 鎌倉時代[14世紀] 鎌倉寺蔵(神奈川県鎌倉市)</p> <p>日本最初の禅宗専門道場、建長寺の開山である關漢道隆は、鎌倉により甲斐に二度流されている。その折、禪宗などの有力者が關漢に帰依し、禪宗寺院を開いた。甲斐に禅宗をもちた人物の肖像である。</p>	<p><b>吉祥天及二天像</b> きちじょうてんおびにてんざう</p> <p>▶木造 三軀 鎌倉時代[13世紀] 福光園寺蔵(笛吹市)</p> <p>吉祥天を中尊とし、持国天、多聞天を脇侍とする三尊の組み合わせは大変珍しい。吉祥天像内の墨書から在地豪族三枝氏の願により、慶派仏師蓮慶が制作したことが知られる。</p>	<p><b>不動明王坐像</b> ふどうみょうおうざざう</p> <p>▶木造 一軀 平安時代[11世紀] 大聖寺蔵(身延町)</p> <p>甲斐源氏一族、加賀見遠光が、宮中守衛の功績により、高倉天皇から下賜されたという伝承をもつ。花形や宝珠を用いた装身具など裝飾性に富む。その由緒にふさわしく、みやびな趣の像である。</p>	<p><b>薬師如来立像</b> やくしにょらいりゅうざう</p> <p>▶木造 一軀 平安時代[10世紀] 明王寺蔵(増穂町)</p> <p>やや大きめの頭部、翻波の様相を呈する衣の線など、平安前期にさかのぼる特色を示す。小像ながら量感あふれた身体表現を示す一方、顔立は穏やかさを感ぜさせる。</p>	<p><b>薬師如来及両脇侍像</b> やくしにょらいおよはりょうしよざう</p> <p>▶木造 三軀 平安時代[10世紀] 大善寺蔵(甲州市)</p> <p>古代の在地豪族、三枝氏の氏寺と伝える大善寺の本尊。一本道りで量感豊かな造形を見せる。おおうかて気宇の雄大さを感ぜさせる像である。</p>
<p><b>夢窓疎石坐像(夢窓国師坐像)</b> むそうそせきざざう(むそうこしざざう)</p> <p>▶木造 一軀 南北朝時代[14世紀] 古長禅寺蔵(南アルプス市)</p> <p>日本の禅文化の発展に大きな役割を果たし、足利将軍家時時代の権力者の信仰を一身に受けた夢窓は、幼少期を甲斐で過ごし、数々の寺院を開いた。顔つきや、なで肩の表現など、その特徴をよく伝える像である。</p>	<p><b>仏涅槃図</b> ぶつねはんず</p> <p>▶絹本着色 一幅 室町時代[15世紀] 大蔵経寺蔵(笛吹市)</p> <p>臨終の床にある釈迦を、菩薩や仏弟子、動物たちが取り囲み、その死を嘆き悲しんでいる。その数の多さ、感情表現の激しさなどに、大陸からもたらされた新様式を色濃く反映した一幅である。</p>	<p><b>聖徳太子立像</b> しやうとくだいしりゅうざう</p> <p>▶木造 一軀 鎌倉時代[14世紀] 仁勝寺蔵(甲府市)</p> <p>太子十六歳の折、父である用明天皇の病平癒を祈る姿で、孝養像と呼ばれる。その顔は一見あどけなさを感じさせるものの、威厳に満ちた表情をたたえている。</p>	<p><b>阿弥陀如来及両脇侍像</b> あみだにょらいおよはりょうしよざう</p> <p>▶木造 三軀 平安時代[12世紀] 鎌倉時代[14世紀] 善光寺蔵(甲府市)</p> <p>旧北宮地村(韮崎市)に伝来したと伝えられる。北宮地村は武田氏の祖・武田信義にゆかりの地であることから、甲斐源氏・武田氏に関わる像とされる。</p>	<p><b>甲斐勝沼柏尾経塚出土品</b> かいかつぬまかしおきょうづかしづつどひん</p> <p>▶銅製鑄造 一合ほか 平安時代[12世紀] 東京国立博物館蔵</p> <p>弥勒如来が現れると言われる五十六億七千万年後の未来に經典を伝えるための「信仰のタイムカプセル」。銅製経筒の中からは經典の軸が発見され、ガラス製の玉類、鉄製刀剣も共に出土している。</p>
<p><b>中峰明本坐像(普応国師坐像)</b> ちゅうけうめいほんざざう(ふおうこしざざう)</p> <p>▶木造 一軀 南北朝時代[14世紀] 栖雲寺蔵(甲州市)</p> <p>日本の禅宗に大きな影響を与えた中国僧、中峰明本。温かな人柄を表すかような表情を示す。弟子の業海浄が開いた、天目山栖雲寺に伝わる像である。</p>	<p><b>金剛力士立像</b> こんごうりきしりゅうざう</p> <p>▶木造 二軀 鎌倉時代[12世紀] 放光寺蔵(甲州市)</p> <p>2m60cmに及ぶ巨像。バランスがとれたプロポーションで、手足は力感にあふれ、表情は憤怒の相ながらユーモラスな趣を感ぜさせる。寺伝によれば、「南京大仏師成朝」の制作と伝わる。</p>	<p><b>金剛力士立像</b> こんごうりきしりゅうざう</p> <p>▶木造 二軀 鎌倉時代[12世紀] 放光寺蔵(甲州市)</p> <p>2m60cmに及ぶ巨像。バランスがとれたプロポーションで、手足は力感にあふれ、表情は憤怒の相ながらユーモラスな趣を感ぜさせる。寺伝によれば、「南京大仏師成朝」の制作と伝わる。</p>	<p><b>甲斐勝沼柏尾経塚出土品</b> かいかつぬまかしおきょうづかしづつどひん</p> <p>▶銅製鑄造 一合ほか 平安時代[12世紀] 東京国立博物館蔵</p> <p>弥勒如来が現れると言われる五十六億七千万年後の未来に經典を伝えるための「信仰のタイムカプセル」。銅製経筒の中からは經典の軸が発見され、ガラス製の玉類、鉄製刀剣も共に出土している。</p>	

**開催期間** 11月20日(月)まで **休館日** 11月6日(月)、11月13日(月)

**開館時間** 午前9時30分から午後5時まで(入館は午後4時30分まで)

観覧料	大 人		1,000円(840円)		常設展 + 企画展 共通券	大 人		1,240円	
	大・高生		500円(420円)			大・高生		580円	
	小・中学生		260円(210円)			小・中学生		290円	

※県内在住の65歳以上の方(生年月日がわかるものをご提示ください)、障害者手帳をお持ちの方、土曜日における小・高・特殊教育諸学校生は無料 ※( )内は20名以上の団体割引料金 ※お得な定期観覧券を販売中。(下記参照)

**問い合わせ** 山梨県立博物館 笛吹市御坂町成田1501-1 ☎055-261-2631 ☎055-261-2632

山梨県立博物館では、開館一周年を記念して、特別展「祈りのかたち」甲斐の信仰」を十一月二十日まで開催しています。

甲斐の人々は、力強さの中に大らかな息吹を感じさせる如来像や繊細で優美な菩薩像、あるいは憤怒の形相をもつ人々を導く明王像など多彩な仏像仏画を生み出し、祈りをささげ、思いを託してきました。

また、日蓮や夢窓疎石など日本仏教の礎を築いた祖師たちは、この地に縁深く、多くの足跡を遺しています。人々はその姿を像に刻み、その面影を慕い続けました。

本県に伝わる仏像仏画は、これまでとまっぴらで紹介されることがありませんでしたが、本展は、十六件の国指定重要文化財をはじめ、県指定文化財など五十二件の県内仏教美術の精華を「祈りのかたち」として、堂に集めたもので、本県の信仰の歴史を概観する初めての機会です。

甲斐の風土にはぐくまれてきた豊饒な祈りの世界をぜひご堪能ください。

※借用期間の都合により、關漢道隆経行像の展示は終了しています。

## お知らせ

**県民の日記念行事**

11月20日は県民の日です。郷土について理解と関心を深め、ふるさとを愛する心をはぐくみ、共に次代に誇りうる、より豊かなふるさと山梨を築きあげていくことを期する日。それが県民の日です。この日を記念してさまざまな催しが行われます。ぜひ、お出かけください。

▶**県民の日記念行事「交流広場」**

- 日時/11月11日(土)~12日(日) 午前10時~午後4時
- 場所/小瀬スポーツ公園(甲府市)
- 内容/市町村広場、お祭り広場、地域おこし交流広場など

▶**県有施設の無料開放**

- 無料開放日/11月20日(月)
- 施設/県立美術館、博物館、フラワーセンターなどの県有施設で観覧料、入場料などが無料になります。

▶**市町村有施設の無料開放**

- 無料開放日/11月20日(月)

※一部の市町村や施設では日程が異なります。

●問い合わせ先/県民の日記念行事実行委員会事務局(県民生活課内) ☎055-223-1350 ☎055-223-1354

**「クリーンエネルギーフェスティバル」開催**

参加体験型のイベントを通して、省エネルギーやクリーンエネルギーに対する理解を深めていただくことを目的に「県民の日」協賛事業として毎年開催しています。

▶日時/11月11日(土)午前10時~午後3時

▶場所/発電総合制御所・クリーンエ

ネルギーセンター(甲斐市)

▶内容/電気自動車・ソーラー電車の体験乗車、人力発電コーナー、ケナフのはがき作り、お楽しみ抽選会、アニメ映画の上映など

●問い合わせ先/発電総合制御所 ☎055-278-1211 ☎055-278-1210

**定期観覧券の販売**

県立美術館、県立博物館、県立文学館、県立考古博物館、県立富士湧水の里水族館では、購入した日から1年間、常設展・特別展を何回でも観覧できるお得な定期観覧券(年間パスポート券)の販売を行っています。

区分	一般	大・高生	中・小生
県立美術館	3,000円	1,500円	750円
県立博物館	2,000円	1,000円	500円
県立文学館	1,500円	750円	500円
区分	一般・大生	高・中・小生	
県立考古博物館	1,300円	500円	
区分	一般・大・高生	中・小生	
県立富士湧水の里水族館	1,200円	600円	

**県内宿泊者割引**

県立美術館、県立博物館、県立文学館、県立考古博物館では、県内の旅館やホテルなどに宿泊された個人の方を対象に、宿泊当日と翌日の観覧料の団体料金への割引を行っています。

●問い合わせ先/学術文化財課 ☎055-223-1790 ☎055-223-1793

花き農産課(「県立富士湧水の里水族館」のみ) ☎055-223-1614 ☎055-223-1615

**「地域防災シンポジウム in やまなし」開催**

「地域防災シンポジウム in やまなし」

「助け合いの力が地域を救う」を開催します。

▶日時/11月23日(木・祝) 午後1時~4時

▶場所/山梨県JA会館(甲府市)

▶内容/基調講演、パネルディスカッション

▶参加費/無料

▶定員/400名(先着順)

▶申し込み方法/電話、FAX、メールにより申し込んでください。FAX、メールの場合は、氏名・住所・電話番号をご記入ください。

▶申込期限/11月21日(火)

※本事業は全くの助成金で開催します。

●申し込み・問い合わせ先/消防防災課 ☎055-223-1430 ☎055-223-1439

Eメール:shobo@pref.yamanashi.lg.jp

**マッサージや指圧などは有資格者から受けましょう**

あん摩マッサージ指圧・鍼灸・柔道整復の施術は、それぞれ国家試験に合格した有資格者でなければ業として行うことはできません。

マッサージなどの施術は有資格者から受けるようにし、無資格者による施術で健康被害を受けることのないように注意してください。

▶「医療安全推進週間」/11月19日~25日

●問い合わせ先/医務課 ☎055-223-1482 ☎055-223-1486

**県営住宅「若草下今井団地2号館」入居者募集**

新築に伴い入居者を次のとおり募集します。

▶募集戸数/20戸(3LDK×20戸)

▶募集期間/12月1日(金)~15日(金)

▶対象/県内に在住またはお勤めの

方で、所得が一定額以下の世帯

▶入居予定/平成19年1月22日(月)

▶その他/応募者が募集戸数を上回る場合には抽選となります。障害者世帯などの優先入居も行います。

※なお、「双葉響が丘団地4号館」は11月1日(水)から15日(水)まで申込受付を行なっています。

●問い合わせ先/住宅供給公社 ☎055-237-1656 ☎055-237-7095

住宅課 ☎055-223-1732 ☎055-223-1736

## 募集

**公立学校期間採用職員募集**

公立学校期間採用職員の選考検査を実施します。多数の応募をお待ちしています。

▶受検資格/志望する校種、教科に相当する教諭の免許状あるいは養護教諭の免許状を所有する方、または平成19年3月31日までに取得見込みの方

▶任用期間/原則として平成19年4月1日から平成20年3月27日まで

▶申し込みに必要な書類等/11月20日(月)から各教育事務所、各県立学校、義務教育課及び高校教育課において配布します。

▶申込書提出先/義務教育課

▶提出期間/11月20日(月)~12月5日(火)(郵送の場合は、12月5日の消印有効)

▶検査の方法/書類選考検査または作文と面接検査

▶作文・面接検査の実施日/平成19年2月1日(木)

▶検査会場/県総合教育センター(笛吹市)

●問い合わせ先/義務教育課 ☎055-223-1757 ☎055-223-1759

## 催しもの

**県立博物館**

古文書講座「武田氏関連資料を読む」

▶11月5日(日) 午後1時30分~3時

※事前申込必要

■問い合わせ ☎055-261-2631

**県立美術館**

特別展「光の水墨画 近藤浩一路の全貌」

▶~11月26日(日)

■問い合わせ ☎055-228-3322

**県立図書館**

県立施設開放文化講座「山梨人物百科」第6期「武田家の家臣①~③」

▶11月17日(金)~19日(日)

▶地下講堂

■問い合わせ ☎055-226-2586

**県立文学館**

企画展「正岡子規とその時代」

▶~11月23日(木)

■問い合わせ ☎055-235-8080

**県立考古博物館**

第24回特別展「甲府盆地から見たヤマト-甲斐鏡子塚古墳出現の背景-」

▶~11月26日(日)

▶開催期間中無休

■問い合わせ ☎055-266-3881

**県立科学館**

「青少年のための科学の祭典」

▶11月18日(土)~19日(日) 午前9時30分~午後4時

実験・工作のブースが勢ぞろいの年に一度の科学のお祭り

■問い合わせ ☎055-254-8151

**11月・12月第1週のテレビ・ラジオ番組**

2006 NOVEMBER DECEMBER

山梨放送 **YBSテレビ** **YBS**

やまなし Today

日曜日 ●AM7:30~7:45

11/5 VFK陰の主役

11/12 観光おもてなし

11/19 新たな農業普及体制

11/26 凄いきどろ目的ダム

12/3 自分の未来を守るために

テレビ山梨 **UTY**

It's 山梨!

土曜日 ●PM5:50~6:00

知事出演 It's山梨!スペシャル

11/3 (PM3:30~4:00) 都市と農村の交流~やまなしで田舎暮らし

11/4 古いモノで暮らす

11/11 楽しもう! 県民の日

11/18 団塊世代をとりこめ

11/25 ヘイ!キッズ「電気のみみつ」

12/2 僕が作る私が作るマイカレンダー

山梨放送 **YBSラジオ** **765**

爽快やまなし! NOW

土曜日 ●AM11:30~11:45

11/4 歯の健康のために

11/11 県民の日イベント

11/18 やまなしの道づくり

11/25 新しい高校入試制度

12/2 地域ブランド

※放送番組は予定です。